

岩屋通信第二十三号

1P 長崎北道場の会員の

方々、またこの機関誌に目を通していただいている合氣道を心から愛する皆様方、いかがお過ごしでしょうか。

明けましておめでとうございます。昨年も確か新年の二日南国長崎でも寒波が襲来して寒かったような記憶がありますが、今年の年明け一日も珍しく小雪舞う天気となりました。

待っていた新春の日の出は曇天模様でしたが、どうにか太陽ものぞいてきて、まずは目出度い平成二十一年の幕開けとなりました。

昨年、我が万正館も平成十一年以来九年ぶりに以前の名称に戻り、気持ちも新たに合氣道に励みつあつた矢先、四月に砂泊先生が足を骨折されました。

しかし術後の経過もよく、その後には公德会武道場での月例の有段者交流研修会にもお顔を出されるなど、お元気なられてまずは一安心である。

昨年は、日本国内でも世界中でもいろいろなことがありました。北京オリンピックの熱気からも早いものでもう五ヶ月が過ぎようとしております。

感動の名場面がたくさんありました。

四百十三球を、準決勝から再度の米国との決勝戦合わせて三試合一人で投げ抜いたソフトボールの上野投手、ともすればポイント制による小技の加点によって勝利を得ようとする柔道選手が多い中で、柔道本来の真髄である一本勝ちを追及してオリンピック二連覇を達成した谷本歩実選手など多くの感動をいただいたのが、つい昨日のことのようです。一方悲しい事件や事故

も多い一年でした。五月十二日の中国・四川省での大地震、六月八日東京秋葉原街での連続殺傷事件など・・・しかし秋以降の世間同時不況による契約や請負社員の大リストラが辛い世相を反映した最も悲しい出来事ではなかったかと思えます。

この年末年始に住む家も食べるものにも事欠く人々は、本当にたいへんだと思います。

さて、当長崎北道場は、平成十四年七月に市内北部地区で呱呱の声を上げて発足しましたが、あつという間の六年間だったような気がします。

いろいろ紆余屈折しながらも順当に会員数も増えてつあります。特に世相を反映してか、幼年部の会員が多いのも北道場の特徴の一つです。

あと数年後には、中央教

育審議会からの答申を受けて文部科学省方針では、全国の中学校で武道の授業が導入されることになりませんが、その際に合氣道の役割がたいへん重要になってくる、そのためいろいろな面で特に指導者の方々は準備をしておく必要があるかと思われま

去る十一月九日(日)、当道場では秋季演武大会を開催しました。二十四組の一般会員、幼年部会員それぞれ交じり合つての緊張した雰囲気の中にも和やかな気持ちで、皆さん素晴らしい演武を披露してくれました。

見学の父兄の方々も日頃自宅での姿とまた一つ異なる真剣な表情での子どもさんらの演武に満足されていたようです。幼年部の指導の方、特に実行委員長の村里さん、たいへんお疲れ様でした。



寂然不動

以前の岩屋通信でも少し紹介させていただいたのですが、今年三月二十八日（平成21年）の頃、学生時代の親友を亡くしました。享年五十七歳、まだまだ男盛りの歳で本人もさぞ無念だったようです。

自分にもしものことがあれば、親戚や職場のかれこれに連絡を、また友人はだれだれに、その時九州のNにも必ず連絡を」と言ったとか、あとでそのことを聞き悲嘆にくれました。

年度末という忙しい時期でもあり葬儀に駆けつけることもできず、夏季休暇をとって七月三十一日から八月三日にかけて福島県の相馬市のご自宅にお参りに行ってきました。

この友人とは学生時代の共通の趣味として、酒を酌み交わすのはもちろんでしたが、もう一二年に数回、関東地方周辺の山々をいっしょに巡ったりしたこともあり、是非お参りの行きがけにどこか福島県内の山に登って二人で撮影した写真を山頂に埋めるつもりで、選んだ山は会津駒ヶ岳（二二三三m）。

まず一日目は空路東京の羽田空港へ、日の出棧橋から浅草まで隅田川を定

期観光船で上り、東武浅草駅から東武鉄道で鬼怒川温泉まで約二時間の鉄道の旅。

鬼怒川で乗り換えて、会津鉄道でさらに北上し会津高原尾瀬口で下車。ここまで来るとさすがに真夏とはいえかすかに秋の気配を感じるので日本も広いもの、そこからバスで今日の宿泊地の松枝岐村まで約一時間ゆられて到着。

二日目は心配していた先週のような大雨もなくまずまずの登山日和で一安心、五時前には既に明るいが九州から来た身では熊との遭遇が心配なのでやや時間を遅らせて、五時半頃登山を開始しました。

約一ヶ月自宅周辺を歩いたりしてトレイニングしていたとはいえ日頃の不摂生の身では、まず暫くはゆっくりした歩き開始である。

ガイド本に記載されていたように最初の一時間

程は急峻な上りであったが、その後は意外と歩き易くその頃からイワカガミなどの高山植物もちらちら始めて目を楽しませてくれます。

八時過ぎに駒ノ小屋に到着し、民宿で昼用と二食準備してくれたうちのひとつで遅い朝食をとった。

周辺にはこの山の名物でもある、その名の通り桜の花に似ているハクサンコザクラがそこで観察されるが、残雪の合間の登山道を慎重に進めて山頂のさらに先の中門岳まで足を延ばした。

この山頂一帯には高層湿原が広がっておりその中にワタスゲが咲き誇っておりまさに天上の楽園、極楽浄土とはこのようなところでは、標柱の後ろに親友との思い出の写真をそっと埋めて下山した。

会津若松市内で一泊した後、高速バスやJR常磐線を乗り継いで、相馬市の

ご自宅で親友の霊前に哀悼の誠をささげた後、奥様とご子息に亡くなる前頃の生前の様子など聞いて、ご自宅をあとにした。



ワタスゲの花

お知らせ

稽古始めは、十日土曜日
熊本の研修会日の、
一月二十五日（日）
二月十五日（日）
三月十五日（日）
四月二十六日（日）
以上、稽古休みですので、
お間違えなきように。